

2 社会経済情勢の潮流

(1) 現状・将来見通しと求められるもの

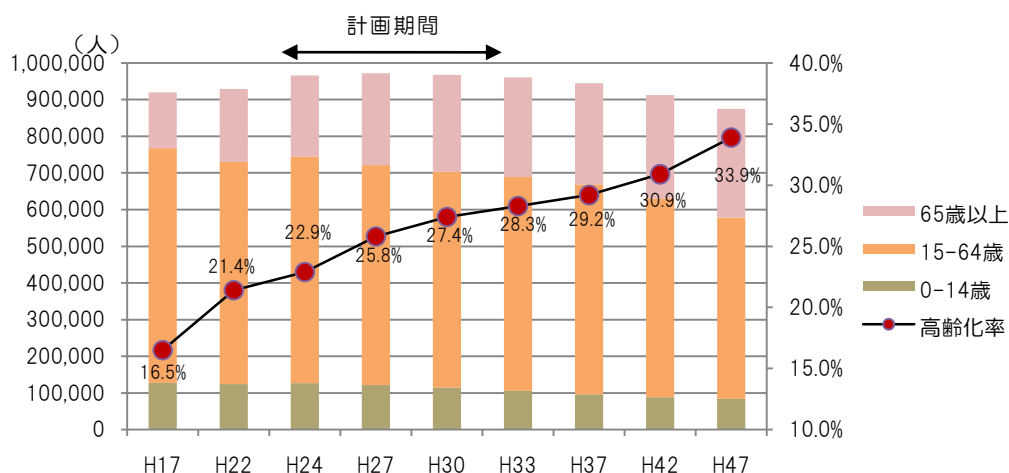
ア 超高齢社会の到来に伴う消費動向

本市の人口は、平成 27 年に 97 万人に達した後、全国に比べ緩やかに減少する見通しです。年少人口（15 歳未満）や生産年齢人口（15～64 歳）は減少を続ける見通しですが、高齢者（65 歳以上）の人口は増加を続け、平成 27 年には 4 人に 1 人が、平成 47 年には 3 人に 1 人が高齢者という超高齢社会※が到来する見通しとなっており、一都三県の平均を上回るペースで高齢化の進行が予想されます。

このため、人口減少と超高齢社会※の到来に対応する質の高い商品やサービスに対するニーズが高まることが予想されます。近年、マラソンやサイクリング、ヨガといった健康志向型のスポーツ愛好家が増えており、また中高年層におけるアクティブエイジング志向※も高まりつつあるなど、全国的に健康とスポーツをキーワードとした消費需要が伸びています。こうした状況を踏まえ、これらのサービスを提供できる産業・雇用形態の創出が求められています。

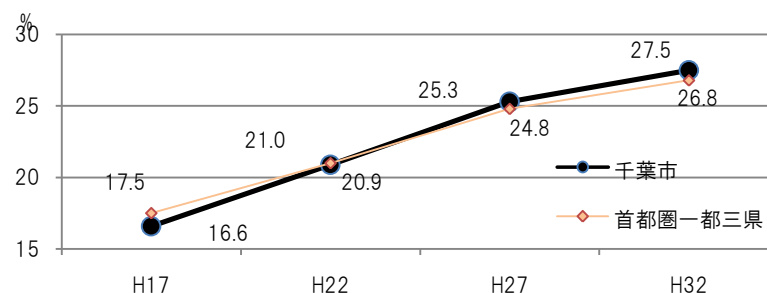
▼ 年齢3区分人口及び高齢化率の見通し

／出典：平成 17 年及び平成 22 年国勢調査（総務省）及び千葉市新基本計画人口推計



▼ 高齢化率（65 歳以上人口）の変化（平成 17 年から平成 32 年）

／出典：国立社会保障・人口問題研究所 2007 年 5 月予測

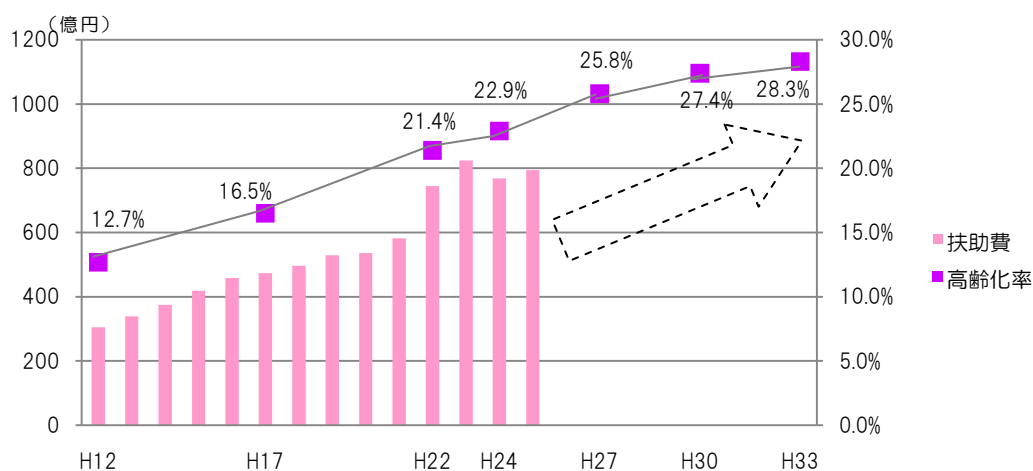


イ 財政支出の抑制に寄与する産業の役割

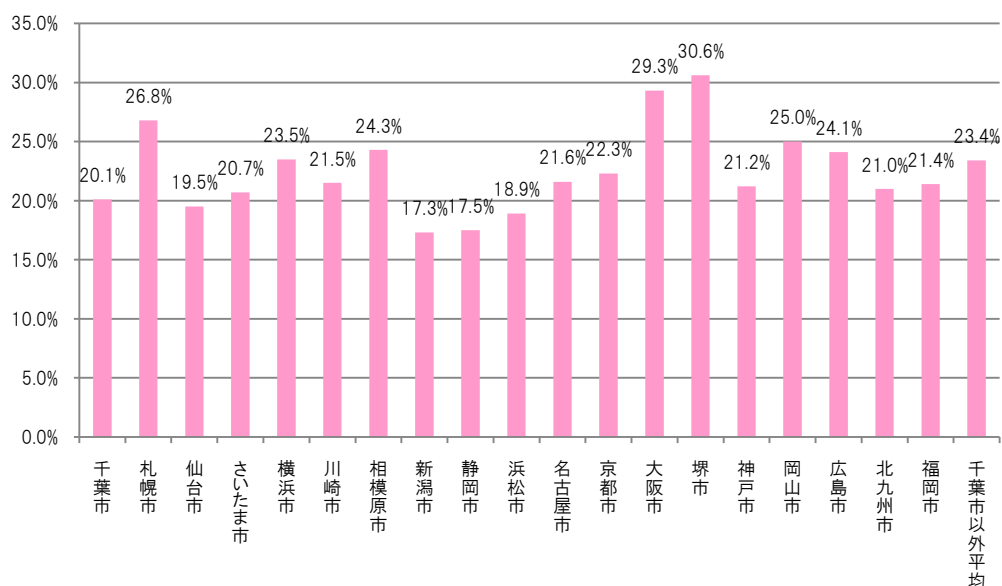
本市をはじめとする地方自治体の財政状況は、少子超高齢社会※の到来や雇用情勢の悪化などに伴い、高齢者福祉や生活保護対策などに支出される扶助費が増加し続けており、今後も引き続き増加することが見込まれます。このため、健康関連サービス・医療機器産業などの健康増進や雇用対策などの役割が産業界にも求められています。

▼ 扶助費と高齢化率の推移 / 資料：千葉市財政健全化プラン

平成 22 年度までは決算、平成 23 年度は予算、平成 24 年度以降は推計



▼ 各政令市の平成 22 年度歳出決算に占める扶助費の割合 / 資料：千葉市



ウ 従業者比率が高い産業の振興

市内の事業所数割合は、統計法に基づく日本標準産業分類の大分類で比較すると、卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス業、建設業の順で多くなっており、この3分類で50%近くを占めています。また、市民向けのサービス産業である、卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業、教育学習支援の4分類で全体の50%以上を占めています。この他サービス業（他に分類されないもの）、医療福祉分野が約7%ずつを占めています。

一方、従業員数割合をみると、卸売・小売業、サービス業（他に分類されないもの）、医療・福祉の順で多くなっており、この3分類で40%以上を占めています。また、市民向けのサービス産業である、卸売・小売業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業、教育学習支援の4分類で全体の40%以上を占めています。

これらのことから、市内従業者の40%以上を占め、規模の小さな事業者が多く存在する市民向けのサービス業への波及効果を考慮した産業振興策が求められています。

▼千葉市の事業所数、従業者数

／出典：平成21年経済センサス基礎調査（総務省）第7表

大分類	事業所数	割合	従業者数	割合
農業、林業	45	0.1%	640	0.2%
漁業	1	0.0%	4	0.0%
鉱業、採石業、砂利採取業	1	0.0%	1	0.0%
建設業	3,081	10.0%	30,820	7.2%
製造業	1,270	4.1%	27,640	6.5%
電気・ガス・供給熱	48	0.2%	2,880	0.7%
情報通信業	402	1.3%	11,823	2.8%
運輸業、郵便業	855	2.8%	26,971	6.3%
卸売業、小売業	8,041	26.1%	93,749	22.0%
金融業、保険業	604	2.0%	15,627	3.7%
不動産業、物品賃貸業	2,462	8.0%	12,267	2.9%
学術研究、専門・技術サービス業	1,452	4.7%	14,169	3.3%
宿泊業、飲食サービス業	3,842	12.5%	39,886	9.4%
生活関連サービス業、娯楽業	2,878	9.3%	18,904	4.4%
教育、学習支援業	1,333	4.3%	26,487	6.2%
医療・福祉	2,150	7.0%	40,138	9.4%
複合サービス業	132	0.4%	1,149	0.3%
サービス業（他に分類されないもの）	2,066	6.7%	47,508	11.1%
公務	143	0.5%	15,834	3.7%
合計	30,806	100.0%	426,497	100.0%

※サービス業（他に分類されないもの）：廃棄物処理業、自動車整備業、職業紹介・労働者派遣など、主として個人又は

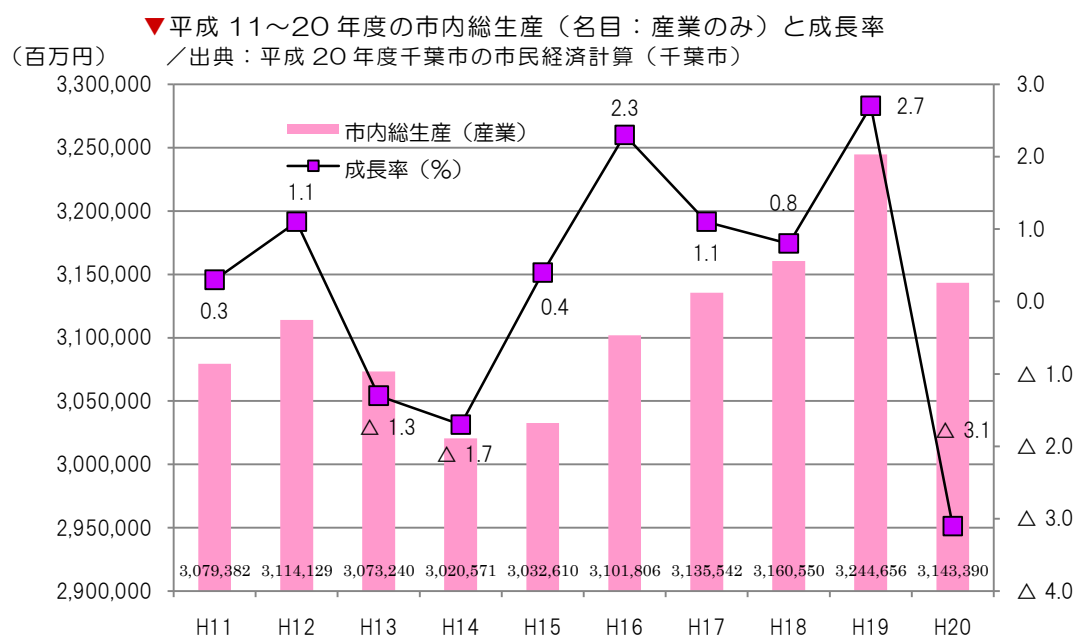
は

事業所に対してサービスを提供する他の大分類に分類されない事業所が分類されます。

エ 市内総生産の状況

本市の経済規模、所得水準等を明らかにするため毎年推計している市民経済計算によると、平成 20 年度の市内総生産（名目：産業のみ）は世界同時不況の影響を受け、前年の 3 兆 2,447 億円から 3 兆 1,434 億円へ大きく減少しています。

また、成長率は産業のみでは△3.1%となっており、世界同時不況の影響から大きく落ち込んだ市内総生産の立て直しが求められています。



オ 千葉市を取巻く国際ビジネス環境

日本の総人口が減少に転じる中、今後も、世界全体の人口は膨張をつづけ、特にアジアは今後 10 年で 4 億人以上の人口増が見込まれており、千葉市で育まれた優秀な技術やサービスにも大きなビジネスチャンスがあると考えられます。

特に、本市は国内有数の特定重要港湾※である千葉港を持ち、我が国の空の玄関口である成田国際空港へのアクセスも容易な位置に立地しているなど、事業の海外展開にあたっては理想的な環境にあると考えられます。

このような恵まれた環境を活かし、市内企業が海外でのビジネスチャンスをつかむことができるように、状況に応じた、海外進出へのフォローが必要であると思われます。

また、海外の企業に対しても本市のもつ地理的な特性を積極的に P R し、誘致を進めることによって、世界の成長を千葉市に取り込んでいく必要性についても、これまで以上に増していくことが考えられます。

(2) 千葉市が持つポテンシャル

ア 本市の立地環境と交通網

千葉市は、首都圏東側に位置し、東京湾に面した 19 km におよぶ海岸線をもち、大都市でありながら、内陸部は緑豊かな丘陵地域となっています。

千葉市から都心までは約 40 km、東京湾アクアラインまで約 30 km、成田国際空港まで約 30 km と至便な地理的位置にあり、都心直結の東関東自動車道、京葉道路及び東金道路等の高速道路体系、JR 総武線、総武本線、京葉線、内房線、外房線及び京成電鉄、千葉都市モノレールの鉄道網や主要鉄道駅を中心にほぼ市内全域をカバーするバス網が整備されています。県内における交通網分岐の要衝として、東京および成田まで鉄道（JR）、車とも所要 1 時間程度、同じく東京の衛星都市である横浜や、観光地として位置づけられる南房総（館山、勝浦）、九十九里浜までは鉄道（JR）、車とも所要 1～2 時間程度となっています。

また、航空貨物取扱量国内一位である成田国際空港に近く、国内屈指の貨物取扱高を誇る「特定重要港湾※」千葉港を有し、首都圏はもとより、国際的な視野に立つ取組みができるなど、産業の創出や事業活動にとって極めて優位な位置にあります。

特に、成田国際空港においては、平成 22 年 10 月 13 日に成田空港年間発着枠 30 万回への「容量拡大（30 万回）に係る確認書」が国と千葉県及び 9 市町とで取り交わされ、平成 26 年度には年間発着枠 30 万回の達成を計画しており、LCC※（格安航空会社）やビジネスジェットの強化策を打ち出しています。これにより、県内でのロジスティック※機能へのニーズや幕張新都心への進出ニーズの高まりが期待されます。

市内の道路網は市中心部を走る東関東自動車道と京葉道路の 2 つの高速道路が市域を縦横断し、千葉市街中心部や東京方面へ向かう国道 357 号や主要地方道長沼船橋線（県道 69 号）、東葛方面に向かう国道 16 号、成田方面へ向かう国道 51 号、外房方面へ向かう主要地方道千葉大網線（県道 20 号線）などの主要な幹線道路によって市内の各地域からアクセスしやすい環境となっています。特に、2 つの高速道路により都心への高いアプローチ性を持つと共に、今後、東京外かく環状自動車道、首都圏中央連絡自動車道（茨城県境～大栄区間、東金～木更津区間）の整備や、一般国道 357 号線の交通円滑化のための改良が進められており、広域圏から本市へのアクセス性が一層高まって、事業活動適地としてのポテンシャルがさらに向上することが期待されます。

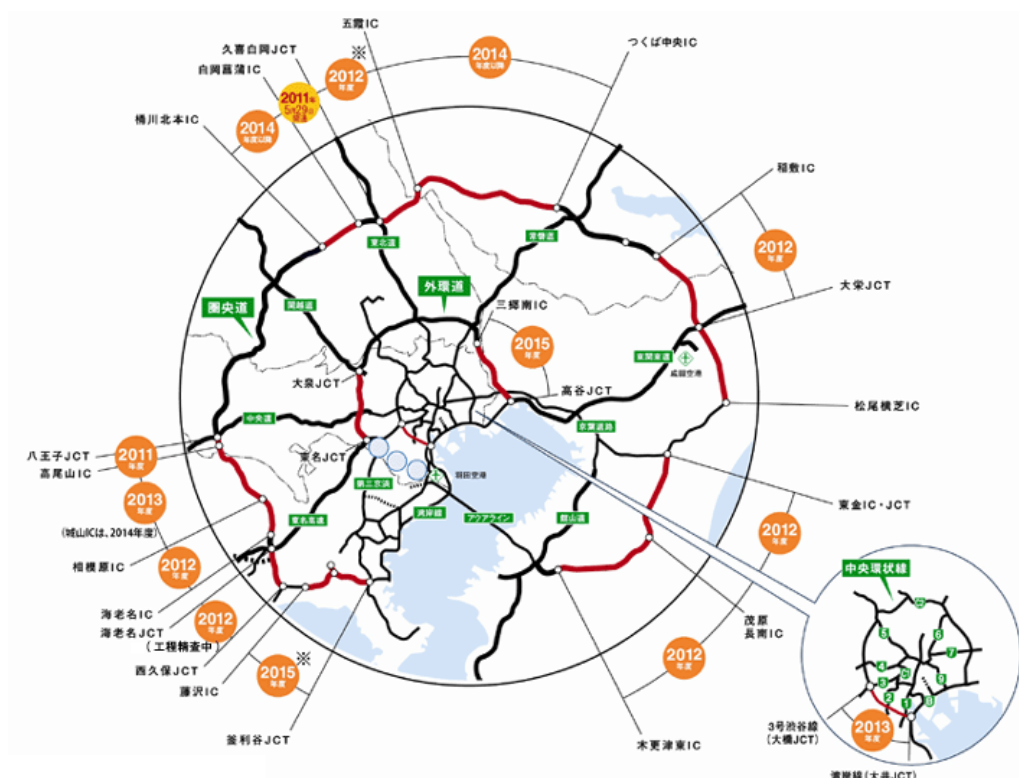


【鉄道】都心からのアクセスが良好！
海浜幕張駅⇄東京駅約30分(快速)
蘇我駅⇄東京駅約35分(通勤快速)
千葉駅⇄東京駅約40分(快速)

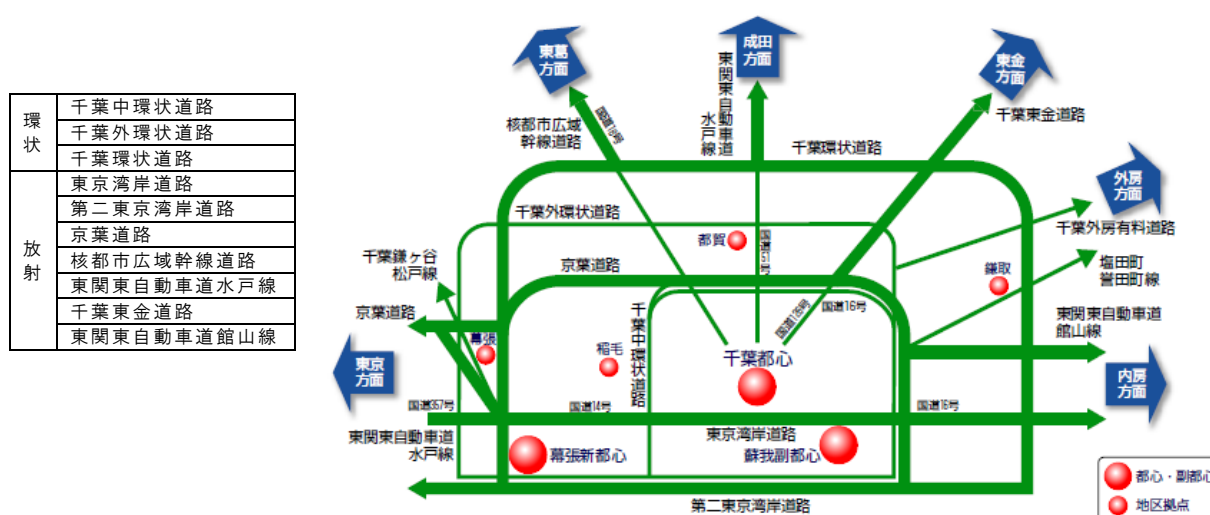
【道路】2つの日本の玄関にも近い！
千葉北 IC⇄成田空港20分圏
蘇我 IC⇄成田空港30分圏
湾岸習志野 IC⇄羽田空港50分圏
蘇我 IC⇄羽田空港55分圏

出典：千葉市作成

▼ 3 環状道路の開通目標／出典：国土交通省関東地方整備局 HP



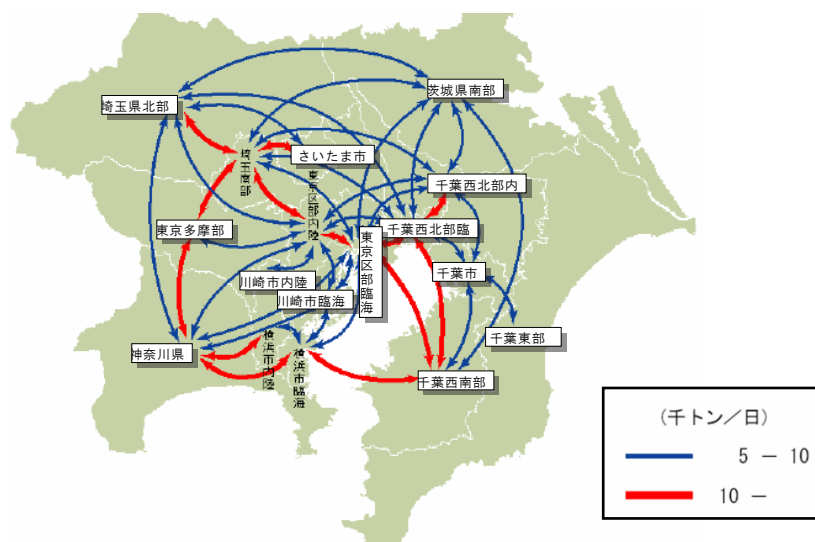
▼ 千葉市内の主な道路 出典：千葉市の道路ver2（千葉市）



イ 物流の現況

千葉県西南部と東京間、また千葉西北部臨海と西南部間の物流が多くなっています。これら貨物車両による通過交通が市内に流入していることが、千葉市街での混雑の要因となっています。これによる経済損失を解消し、時短及び物流量増加を目指すため、新港地区工業団地と京葉道路・一般国道 357 号線のアクセスを改善する新港横戸町線（美浜区幸町～稲毛区穴川）の整備や、一般国道 357 号線については、渋滞の著しい登戸交差点・市役所前交差点等の地下立体化をはじめ、千葉西警察署入口から市役所前交差点の区間にある交差点を連続的に改良するなど、臨海部における交通円滑化の取組みを進めています。

▼東京都市圏内の地域間流動量（全品目・純流動・重量ベース。平成 15 年度）
／出典：東京都市圏物資流動調査（東京都市圏交通計画協議会）



また、千葉港の貿易額は、輸出額 1 兆 683 億円、輸入額 3 兆 3,460 億円（ともに平成 22 年）で、輸入額が輸出額の 3 倍以上になっており、輸入の割合が高いことが特徴です。取扱貨物量では、平成 22 年度では約 1 億 6 千万トンで、名古屋港に次いで全国 2 位となっています。公共埠頭の取扱量は全体の 7%程度ということで、他港に比べ企業等が所有する埠頭による取扱量が大部分を占めていることとなります。

（平成 22 年度 単位:トン）

年次	合計	外国貿易			内国貿易		
		計	輸出	輸入	計	移出	移入
千葉港全体	155,256,294	94,552,004	11,627,506	82,924,498	60,704,290	31,582,317	29,121,973
市域のみ	29,208,243	16,293,099	2,079,781	14,213,318	12,915,144	3,897,620	9,017,524
割合	18.8%	17.2%	17.9%	17.1%	21.3%	12.3%	31.0%

▲海上出入貨物総括表／出典：平成 22 年千葉県港湾統計年報（千葉

ウ 3 都心と7つの産業集積地区

千葉市には、業務核都市※の業務施設集積地区として県庁、裁判所、国関係機関をはじめとした行政機関や商業施設が集積する「千葉都心地区」、先端成長産業の中核業務・研究開発・高度学術教育機能等の集積を促進する「幕張新都心地区」に加え、臨海部の未利用地の活用・整備による新産業導入を目指す「蘇我副都心地区」の3都心と7つの産業集積地区を持ち、それぞれに特色ある産業が集積しています。



▲ 千葉市の業務地域の集積状況
／出典：千葉県千葉市地域基本計画（千葉市）

臨海部「蘇我地区」には、京葉工業地帯の一翼を担う鉄鋼・電力等の素材型工業※集積が形成されています。「中央港・新港地区」については、千葉食品工業コンビナートを中心として食品、製造・運輸業、自動車整備・自動車小売業等が集積しています。

特に、千葉食品工業コンビナートは、農林水産省「食品工業団地形成促進要綱」に基づく食品工業団地として適正化のモデルとされており、現在も食品コンビナートとしての活力を維持しています。

内陸部には、「千葉鉄工業団地」での一般機械・金属加工型工業集積があり、主要な中堅企業等では、新技術・製品開発型企業への転換をはじめ、既存製造技術を活用しつつ、環境関連、医療・福祉関連等での新技術・製品開発への取組みが進められています。これらの産業集積と関連した基盤技術型企业※の中には、オンリーワン企業※が存在するほか、既存技術の高度化から新分野への取組みに対する意欲が高まっています。

「幕張新都心地区」では、情報関連の大手情報・通信産業の業務・研究機能や、ソフト・コンテンツ※・ネットワーク等の最先端の情報系ベンチャー企業や創業・起業家が集積しています。近年は、大手小売企業のグループ企業が集積するとともに、大手通販企業が複数立地するなど、今後成長が見込まれる流通業の集積も見られます。

また、日本有数のコンベンション施設を有し、数多くの国際的な見本市や展示会が行われ、販路拡大や企業間の新たなつながりを作る場となっています。

エ 産業支援機関、研究機関、医療機関の集積状況

千葉市には、千葉県産業振興センター、千葉県産業技術支援研究所や千葉商工会議所をはじめ、多くの産業支援機関が立地しています。特に、本市の産業振興の拠点施設である千葉市ビジネス支援センター※に所在し、中小企業支援センター及び新事業創出の地域プラットフォーム※の中核的支援機関である千葉市産業振興財団は、市内中小企業の総合窓口として、支援の中心的役割を担っています。

また、市内には千葉大学をはじめとする 14 の大学・短期大学、（独）放射線医学総合研究所や千葉県産業支援技術研究所などの国、県、民間の最先端の研究機関、千葉大 亥鼻イノベーションプラザ※及び千葉大学サイエンスパークセンター※など新事業、新技術の研究開発施設が立地し、積極的な産学連携※や研究成果の事業化が進められています。さらに、千葉大学医学部附属病院や放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病院、千葉市立青葉病院、千葉市立海浜病院といった先端的な治療が可能な医療機関が集積し、医療・福祉分野での既存産業の高度化や新事業の創出を行う上での大きな強みとなっています。

本市では、大学等研究機関の持つ資源を有効に活用した協働による活動を推進することで、地域の諸課題に迅速かつ的確に対応し、地域経済の活性化と市民サービスの向上を目指し、包括協定等の締結を推進しています。平成 22 年には千葉大学と淑徳大学、平成 23 年には放射線医学総合研究所と協定を締結し、各種の連携事業を行っています。

今後、千葉大学医学部や看護学部をはじめとする市内の大学との連携を強化することで、国が重点化するライフ・イノベーション※、グリーン・イノベーション※関連製品の地域外輸出を考えた場合、開発する商品・サービスの健康支援機能（例えば食品の成分証明や運動器具の医学的効果）を学術的に裏づけることで、国内外で競争力を持つ産業への成長が期待できます。

▼ 市内の大学・短期大学の一覧

No	大 学	所在地
1	千葉大学	稲毛区弥生町 1-33
2	放送大学	美浜区若葉 2-11
3	神田外語大学	美浜区若葉 1-4-1
4	淑徳大学	中央区大蔵寺町 200
5	東京歯科大学	美浜区真砂 1-2-2
6	植草学園大学	若葉区小倉町 1639-3
7	敬愛大学	稲毛区穴川 1-5-21
8	城西国際大学	美浜区中瀬 1-7-1
9	千葉経済大学	稲毛区轟町 3-59-5
10	千葉県立保健医療大学	美浜区若葉 2-10-1
11	東京情報大学	若葉区御成台 4-1
12	植草学園短期大学	若葉区小倉町 1639-3
13	千葉経済大学短期大学部	稲毛区轟町 4-3-30
14	千葉明德短期大学	中央区南生実町 1412

※千葉市と国立大学法人千葉大学との包括的な連携に関する協定の締結（平成 22 年 2 月 4 日）

※千葉市と淑徳大学との相互連携協定の締結（平成 22 年 5 月 20 日）

オ 事業活動の国際化を後押しする姉妹・友好都市等との経済交流

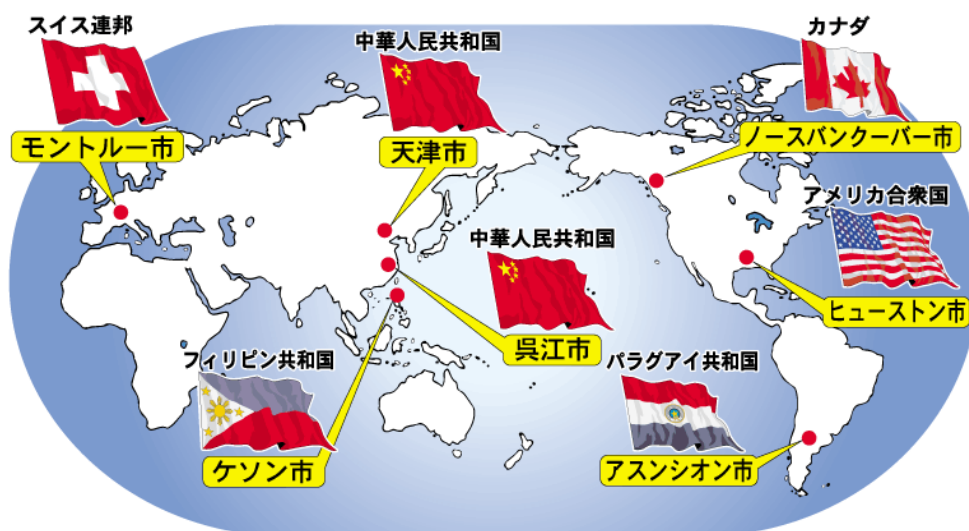
千葉市は、海外との経済交流の拡大を図るため、「千葉市国際化推進基本計画」の基本理念にのっとり、既に交流の実績がある姉妹・友好都市を対象に、当該都市を所管する日本国総領事館(又は、日本国大使館)及び独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)等と連携し、市内企業の姉妹・友好都市等へのビジネス展開を支援するとともに、姉妹・友好都市等の企業の本市への立地促進等の経済交流を進めています。

経済交流は、姉妹・友好都市それぞれの産業状況と本市の地域特性を考慮した互恵的な考え方をベースに、関係機関、団体等の緊密な連携のもと、海外進出に意欲を有する市内企業等に対して総合的な支援を展開するとともに、海外進出の意欲喚起を行っています。

平成22年度には、ヒューストン市(アメリカ)と経済交流推進の合意文書に調印し、その一環として、平成22年4月16日付の米国フォーブズ誌電子版で「世界を変える10のインキュベート施設※」の一つとして紹介された「ヒューストン・テクノロジーセンター」と相互進出支援に関する協定書を締結しました。

また、平成23年度は、友好都市提携25周年の天津市(中国)と友好都市提携15周年の呉江市(中国)と経済交流推進の合意文書の調印を行いました。

▼千葉市の姉妹・友好都市／出典：千葉市国際交流協会 HP



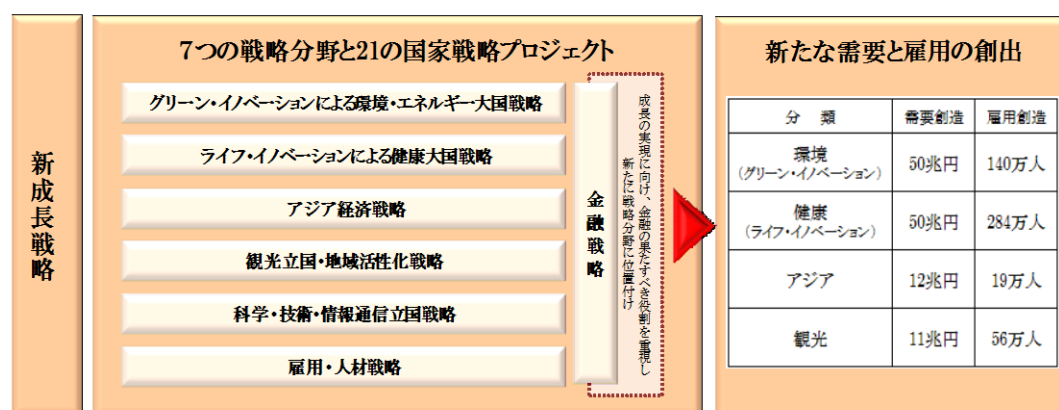
- ① アスンシオン市(パラグアイ) 昭和45年1月1日 提携
- ② ノースバンクーバー市(カナダ) 昭和45年1月1日 提携
- ③ ヒューストン市(アメリカ) 昭和47年10月24日 提携
- ④ ケソン市(フィリピン) 昭和47年11月9日 提携
- ⑤ 天津市(中国) 昭和61年5月 7日 提携
- ⑥ モントルー市(スイス) 平成8年5月28日 提携
- ⑦ 呉江市(中国) 平成8年10月10日 提携

(3) 国・県の産業振興の動向

ア 国の動向

国は、平成 22 年 6 月に「新成長戦略」「産業構造ビジョン」「中小企業憲章」を策定しています。「新成長戦略」では、「強い経済」「強い財政」「強い社会保障」の実現を目標に経済の成長分野として「グリーン・イノベーション※」「ライフ・イノベーション※」「アジア経済」「観光・地域」を掲げ、これを支える基盤として「科学・技術・情報通信」「雇用・人材」「金融」に関する戦略を定めています。「産業構造ビジョン」では、産業構造の転換として「インフラ※関連/システム輸出」「環境・エネルギー課題解決産業」「文化産業（ファッション、コンテンツ※等）」「医療・介護・健康・子育てサービス」「先端分野（ロボット、宇宙等）」の戦略産業分野を設定し、これまでの自動車・エレクトロニクスに偏った「一本足打法」から脱却し「ハケ岳型」の産業構造を目指しています。また、「中小企業憲章」では中小企業を「経済を支える力」「社会の主役」と位置づけ、中小企業政策を進める上での「経済活力の源泉である中小企業が、その力を思う存分に発揮できるよう支援する」「企業を増やす」「創意工夫で、新しい市場を切り拓く中小企業の挑戦を促す」「公正な市場環境を整える」「セーフティネット※を整備し、中小企業の安心を確保する」の 5 つの基本原則と 8 つの行動指針を示しています。特に、行動指針では、海外進出への支援と地域及び社会に貢献できる体制の整備を整えるとしています。

東日本大震災※後には、平成 23 年 8 月に「日本再生戦略」策定のため「日本再生のための戦略に向けて」を閣議決定し震災後の社会情勢に合わせ、「新成長戦略」の目標・工程の検証と行程表の改訂を行っています。さらに、平成 23 年 11 月には産業構造審議会新産業構造部会において、国内の潜在需要を掘り起こし、新たな内需型産業を拡大するとともに、国際分業の中で、付加価値で競争できる新しい製品やサービスを生み出し、アジアで上げた収益を国内に還流する仕組みを整備することで、中小企業の活性化や安定的な雇用の場の確保につなげ、「ハケ岳構造」の産業構造を実現すべきとした中間整理を取りまとめています。特に重要産業として、医療・介護や子育てなどの「ヘルスケア産業」、節電技術などの「新エネルギー産業」、地域資源やアニメなどの「クリエイティブ産業」を挙げ、需要を掘り起こすための規制改革や政策資源の集中投入を行うことで、「攻め」の空洞化対策を講じることが必要であるとしています。



	国内生産額の変化	国内消費の変化
新しいエネルギー産業	19.1 兆円	4.1 兆円
ヘルスケア・子育て	11.6 兆円	6.7 兆円
クリエイティブ産業	5.4 兆円	4.1 兆円
合計	36.1 兆円	15.0 兆円

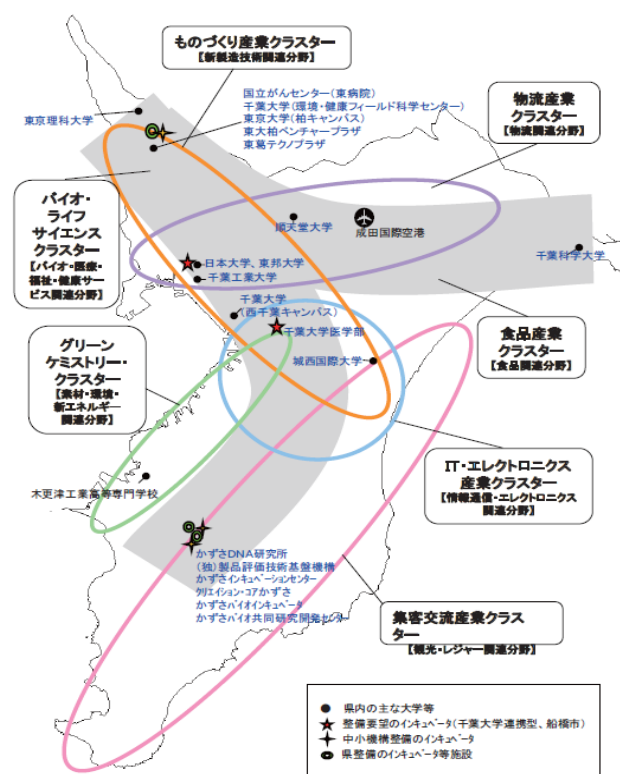
▲重点産業の潜在内需の掘り起こしによる 2020 年の国内生産額、国内消費の変化
資料 政府 産業構造審議会新産業構造部会 第 4 回配布資料（平成 23 年 11 月）

イ 千葉県の産業振興戦略の方向

平成 18 年 6 月策定の「千葉新産業振興戦略」では地域特性や強み、地域内外のネットワークを活かしながら、国際競争力のある産業の強化と地域資源を活用した産業の活性化を実現することを目的に、「ものづくり産業」「食品産業」「物流産業」「グリーンケミストリー※」「バイオ・ライフサイエンス※」「IT※・エレクトロニクス産業」「集客交流産業」7つの重点産業ごとのクラスターの形成、発展を目指しています。

千葉市を中心とした千葉地域は、「国際業務・コンベンション機能の集積があるほか、大学・公設試験研究機関・民間研究所による学術・研究機能の厚い集積があり、医工連携や情報通信技術を基盤とした新産業創出の動きが見られる」とし、「国際業務機能の集積と新時代に対応した産業の集積拠点」と位置付けています。特に、幕張新都心は「千葉新産業三角構想」の一角を担っているとともに、千葉大学及び千葉県がんセンター、放射線医学総合研究所の連携による東京圏におけるゲノム科学の国際拠点となっています。また、同戦略において推進する 7 つの産業クラスター形成において、千葉市を中心とした千葉地域は「IT※・エレクトロニクス産業クラスター」の中心であり、東葛地域を含めた「ものづくり産業クラスター」及び京葉工業地域が担う「グリーンケミストリー※・クラスター」の一翼も担っています。

平成 23 年 3 月策定の 2011 千葉県総合経済対策では、「チャレンジする中小企業者等への支援、新事業・新産業の創出、農林漁業者への支援、建設業者への支援」「若年者などの就業を支援する緊急雇用対策」「子育て支援、高齢者支援、安全安心などの県民生活に対する支援」「新たな成長につながる地域経済活性化・インフラ※の整備」「経済のグローバル化を踏まえた海外展開の推進」「実効ある経済対策推進のための取組み」の 6 つの基本方向を示し、安心のある新たな成長を目指しています。



▲千葉新産業振興戦略の推進による 7 つの産業クラスターの形成と発展／出典：千葉新産業振興戦略（千葉県）

